THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1997～98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長　グレン・W・キンロス

ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

四大奉仕部門すべてを通じて　ロータリーの心を示そう

クラブ奉仕＝あなたのクラブに　ロータリーの心を
職業奉仕＝あなたの職業に　ロータリーの心を
社会奉仕＝あなたの地域社会に　ロータリーの心を
国際奉仕＝私たちの世界に　ロータリーの心を

第４８５回　平成９年１２月５日（金）

［本日のプログラム］

１．点鐘
２．国歌斉唱
３．ロータリーソング「それでこそロータリー」
４．「四つのテスト」唱和
５　食事
６．会長の時間
７．幹事報告
８．各委員会報告
９．１２月セレモニー
１０．会員卓話　恒吉正志君
１１．点鐘

次回予告

＊１２月１２日（金）
夜間例会
会員卓話　藤堂孝一君

＊１２月１９日（金）
会員卓話

佐土原ロータリークラブ

例会日　毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場　石崎浜荘　☎0985-73-1913
事務局　宮崎郡佐土原町大字下田島20614
山脇医院長自宅内
〒880-02　☎(FAX)0985-73-7170

会長　徳丸彰一
副会長　加藤仙之
幹事　梶田與之助
会計　福井輝文
会報委員長　垂水敏雄

第４８４回例会記録

（１９９７．１１．２８）

☆会長の時間

徳丸彰一君

皆さん今日は、本日は第４８４回例会です。前回のガバナー公式訪問では、かなり時間が超過しましたが、皆様にはご多忙中にもかかわりませず最後まで熱心にご研鑽していただき、誠に有り難うございました。当日図師ガバナーからご指導がありました事項につきましては、それぞれの委員会で十分協議し、今後の適正なクラブ運営に資したいと考えます。

前回言い残しましたが、第２７３０地区大会に際しまして、コ・ホストクラブとしての皆さんのご尽力に、心から感謝申し上げます。西都ＲＣからも、くれぐれも皆さんによろしく申し上げてくださいとのことでした。

また、１１月２５日の同大会反省会にも１０名が参加され、ホストクラブ西都ＲＣのご成果を慶祝していただき、重ねてお礼申し上げます。

本日は例会終了後、次年度当ＲＣ役員選考のための理事会を開きますので、よろしくお願いいたします。

☆幹事報告

梶田與之助君

１．例会変更通知

＊都城中央ＲＣ１２月４日１４：００
都城高校
同高校ＩＡＣ認証状伝達式

＊宮崎西ＲＣ　１２月５日１８：００
ホテルフェニックス

＊都城北ＲＣ１２月１６日１８：３０
都城ロイヤルホテル

＊都城ＲＣ　１２月１９日１８：００
インホテルナカムラ

＊都城西ＲＣ１２月２４日１８：３０
レストラン和光

＊都城中央ＲＣ１２月２５日１８：30
都城大丸

２．１９９８年6月１４日～１７日に、第８９回国際ロータリー年次大会が米国インディアナポリスで開催されます。
参加ご希望の方は幹事へご連絡してください。

３．佐土原ＲＣ創立１０周年記念式典及び祝賀会のビデオが届いています。
ご希望の方にはダビングしてあげますので、幹事まで申し込んでください。

☆出席報告

委員長　宮原建樹君

会員数	２７名
ＨＣ出席者数	２０名
欠席者数	７名
出席率	74.1%
メークアップ者数	３名
修正出席率	85.2%
欠席者名	福田・神宮寺・伊東（後）・林（卓）

１２月１９日は１００％出席日です。
２週連続欠席者には電話督励をします。
６か月無欠席者表彰については理事会に諮りたいと思います。
来月連絡当番の方はよろしくお願いします。

☆ロータリー財団委員会より

委員長 濱田松太郎君

１１月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団の目標は、教育的、人道的プログラムに資金を提供することによって、世界の理解と友好関係を助長することにあります。

この目標を遂行するために、次の８項目のプログラムを設けています。

1．国際親善奨学金
2．同額補助金
3．研究グループ交換（ＧＳＥ）
4．保健、飢餓追放及び人間性の尊重プログラム（３Ｈ補助金）
5．開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金
6．ロータリー・ボランティア
7．ポリオ・プラス
8．ロータリー平和プログラム

ロータリー財団の資金は、ロータリークラブ会員の寄付金によって成り立っています。ポール・ハリス・フェロー、ベネファクターなどによる個人寄付の途もあります。皆様のご協力を今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

同時に、米山記念奨学会への寄付につきましても、全国平均額を目指して頑張って行きたいと思います。

徳丸会長から先般ご提案のありました、バングラデシュの恵まれない家族のためにシェルター（仮設の住宅）１０戸を建設する費用として、佐土原ＲＣに５００＄の寄付金の割り当てが来ていることについて、人道的プログラムによるものですから、できれば協力の方向で早急に協議していただきたいと考えます。

☆徳丸会長より

ただ今、濱田委員長からご要望のありました件について、５００＄（１２６円×５００＝６３，０００円　会員１人当６３，０００円÷２７＝２，３３３円）を拠出することの賛非をお諮りします。

※全員の拍手による賛同がありました。

それでは、一応会計の方で立替え送金していただくようにしたいと思います。

☆赤木達也君より

今日は県内各報道機関に佐土原城天守閣の続編の発表をさせていただきました。

本年８月、天守台跡からの出土瓦を調査整理中に、金箔が発見されました。９月に宮崎県工業試験場で分析の結果、主成分は間違いなく金であると鑑定されました。１０月下旬から１１月始めにかけて、佐賀県文化財担当者及び大阪城天守閣副館長中村博司氏を招いて鑑定していただいたところ、豊臣秀吉の支配が佐土原城ににも及んでいたことを裏付ける貴重な史料であることが判明しました。

１５８０年代を前後にして、金箔瓦を使用したのは、織田信長の安土城・豊臣秀吉の大阪城及び徳川家康初期の江戸城だけでした。そして、金箔鯱瓦の製作手法により、その年代を推定することができるのです。佐土原城天守台跡出土の金箔鯱瓦は、豊臣政権期（天正１１年～慶長５年「１５８３年～１６００年」）に使用されたものと判断されます。

１１月のハッピー・ボイス　（追加）

佐土原ロータリークラブの皆様より誕生日プレゼントをいただき、心からお礼申し上げます。私は2年位前より体調がとても悪かったのですが、回りの方々の心優しいご指導等と自分自身の努力の結果、夏頃から回復しています。体が順調になりますと、明るい気持になり、ゆとり有る生活で楽しく長生きしたいと考えています。

まずはお礼まで申し上げます。

梶田規子

（続き）

☆ガバナー・アドレス

ガバナー　図師鎮雄君

１９９７－１９９８年度第２７３０地区運営方針として、**基本方針**３項目、**強調事項**６項目を掲げました。

社会奉仕では、家庭教育が崩壊しているためにいろいろな問題が派生しています。皆さんの育児の経験を生かして、若い子供を育てている親の教育がむしろ大事ではないかと考え、取り上げていただきたいと思います。

世界奉仕では、埼玉県（第２７７０地区）が一昨年だけで、書き損じハガキ回収で１０００万円の収益（過去６年間で６８００万円）を挙げており、この益金がそのまま寺子屋運動の基金に提供されています。寺子屋一か所が７０万円程度で設置されているようです。すばらしい貢献であると感銘し、これなら本県でも会員の皆さんにあまり迷惑をお掛けしないででき得ると判断し、ご協力をお願いしました。川内ＲＣではすでに１０００枚集められたそうです。

ロータリー財団への協力については、どのように財団資金が使われているかを十分勉強していただき（ロータリーの友、ガバナー月信等参照）、ご理解の上でご協力をお願いしたいと思います。

米山記念奨学会への協力では、残念ながら第２７３０地区は全国３４地区中で第３２位です。民間最大の米山記念奨学会の意義と功績に関心を高め、せめて会員１人１０，０００円（全国地区平均は約１６，０００円）を目標にご協力をお願いします。

思えば終戦直後、私たち日本国民は飢えに瀕した時代がありました。その時に米国からの食糧援助（ララ物資）があって、餓死者を出さずに（裁判官１名を除き）すみました。大学の研究機関も全部破壊され、勉強ができなくなりました。

その時も米国からの奨学金で７０００名の日本の優秀な学生が米国で勉学することができました。わが国の繁栄の基礎は、彼等が築いてくれたのです。

また、遠くは１９２２年の関東大震災の直後に、米国の太平洋艦隊の駆逐艦が救援物資を届けてくれました。さらにアメリカのＲＣから２４，０００$，それが呼び水になって世界中から計89,000$（現在では１４０億円）の義援金が送られました。当時低迷していた東京と大阪のＲＣはこれで目を覚まし、日本のＲＣ発展の起爆剤となったのであります。

今私たちは、世界中の恵まれない人々のために何を為すべきかを、改めて考えなければならないと思います。